

その一—速報……………石田純郎(三菱水島病院)

十一、木村孝藏先生の系譜と関連資料について

……………寺畑喜朔(金沢医大)

十二、新収蔵資料紹介

青木允夫(くすり博物館)

〔特別企画〕拓本のとりかたを巡って

午後二時半より

〔演題〕Simplex sigillum veri か、

SIMPLEX VERI SIGILLUM?

山中太木(大阪医科大学)

〔特別講義〕拓本のとりかた

日本拓本協会会長 高橋昌博

中野操先生米寿記念祝賀行事

四月二十一日(日)午後四時より

第二十回労働衛生史研究会プログラム

日時 昭和六十年(一九八五)四月二十七日(土)

一四：〇〇—一七：〇〇

会場 国立教育会館・七〇三研修室(7F)

電話 〇三—五八〇—一二五一

(地下鉄・虎の門又は霞ヶ関下車、文部省となり)

プログラム(質疑討論各十分、スライドなど用意なし)

一、一九七〇年代の京都の労働衛生事情

……………藤田幸子(同志社大・人文研)

二、明治政府の労働者保護に対する態度に就て

一、明治前期(明治二十年、職工条例、職工徒弟条例立案

に至るまで)

……………福留祥子(関西大・社会学部)

三、日本工場法史と"国家"社会政策……………橋本重遠

四、戦後労働衛生発展史(第二報)

—人絹工業における二硫化炭素中毒—

……………乾修然(京都工場保健会)、

藤田幸子(同志社大・人文研)

五、黄燐中毒と野村孝……………三浦豊彦(労研)

六、緒方正規の時代と労働衛生

……………野村茂(熊本大医学部)